

令和3年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県南会場

科目 ④子どもの発達理解

- ◆ 子どもの発達について、写真や資料をもとに詳しく知ることが出来ました。子どもにとっての遊びの重要性について勉強になりました。友だちとの関わりや気付き、感動などが成長に欠かせないものだと思えて感じました。これからも支援員として子どもたちの「遊び」を見守り自立していく手伝いができればと思います。
- ◆ 時間になると「ただいまー」と元気良く児童クラブに来る子どもたち。その声に思わず「おかえりなさい」と声をかけています。その当たり前前に思っていた一声がいかに大事なことだったかを知り、これからも続けようと思いました。遊びの中で考え方の違いを知ったり、友だちとの共感が深まるほどに自分のことを見つめる子になっていくことや、タイミング良くほめてあげると自信にもつながるということで、うまく関わっていきたいと思いました。
- ◆ 子どもの発達における段階を知り、どのような環境でどのように変わっていくのか常に考え続けたい。家族のスタイルも多様化していく中、家族以外の大人がどう関わっていくのか、また、放課後の過ごし方をどう充実させていくのかが、子どもたちの健やかな成長の鍵となるのではないかと。しかし、子どもの成長も個人差があり、年代に区切られた固定的なものではないということを忘れずに柔軟な対応と支援を心掛けていきたいと思う。
- ◆ 職員にべったりとくっついてなかなか離れない、友達や職員に暴言を吐く、すぐに手が出てしまうなど、子どもの一つひとつの行為は何らかの意味があり、その行為の意味は何なのかを日々考えることが重要だと学びました。子どもたち一人ひとりの良さを発見するプロになることを目指し、学びや友達関係のつまづきを援助してあげられるよう日々努力していきたいと思いました。
- ◆ 児童期には、学びに向かう力と人間性等を育むことが大事であると分かりました。子どもたちの人生からすれば、学童クラブで過ごす時間は短いものではあります。人間性等これからの人生に少しでも影響する可能性があることを改めて感じたので、今までよりも気を引き締めて接していきたいと思いました。子どもたちのためにできることを一から改めて考えてみたいと思いました。